

競技注意事項

1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 競技者の招集について

(1) **選手招集場所は、全種目において現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。**

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるため、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

なお、**300m、4×100mR（第2走者）、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ジャベリックスローに出場する選手は、トラック競技の妨げにならないようするため、バックストレート中央からインフィールドに入り、各競技場所へ移動すること。**

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	15分前	10分前
フィールド競技	45分前	30分前
走幅跳、三段跳決勝	30分前	20分前

(3) 招集方法

ア 競技者は、出場種目の招集開始時刻に、現地（スタート地点・各競技場所）でアスリートビブス（ナンバーカード）を競技者係に示し、種目名・組・レーンのチェックを受ける。予選を通過し、決勝に進出した場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。（記録速報掲示板の番組編成に掲載してある）

イ 個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

エ リレー競技についても、同様とする。

3 トラック競技について

(1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。

(2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。但し、中長距離種目の9レーン以降の腰ナンバー標識は、競技者係より受け取ることができる。

(3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。

(4) リレーのオーダーは、**1組目招集完了時刻の60分前までに**競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。

リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。

(5) トラック競技の決勝の走路順は本部抽選とする。

(6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。

(7) AB決勝のある種目は、予選のタイム上位8名がA決勝、9～16位がB決勝となり、表彰者はA決勝が対象となる。

4 フィールド競技について

(1) **B男子走幅跳については、予選を行う。予選通過標準記録は、5m20とする。**

(2) 走幅跳および走高跳は各1・2ピットを使用する。また、走幅跳においては、出場者数により2組の時間差スタートにすることもあり得る。

(3) **B男子走幅跳は、予選の試技を2回（決勝は3回）とする。それ以外の種目は、ベスト8の試技は行わず、1人3本の試技の結果で順位を出す**こととする。

(4) 走高跳のバーの上げ方は、以下の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子A 走高跳（練習1m45）1m50（以後5cm上げ）1m75以後3cm上げとする

男子B 走高跳（練習1m25）1m30（以後5cm上げ）1m50以後3cm上げとする

女子A 走高跳（練習1m25）1m30（以後5cm上げ）1m50以後3cm上げとする

女子B 走高跳（練習1m05）1m10（以後5cm上げ）1m30以後3cm上げとする

(5) 棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子 1m50開始（以後20cm上げ）2m50以後10cm上げとする

女子 1m50開始（以後20cm上げ）2m10以後10cm上げとする

(6) **B男女走幅跳、B男女砲丸投、共通男女円盤投、共通男女ジャベリックスローにおける計測ライン**は、下記の通りとする。

（当日の天候などによる変更有り）

男子 走幅跳 4m80 砲丸投 6m00 円盤投 12m00 ジャベリックスロー 20m00

女子 走幅跳 3m75 砲丸投 7m50 円盤投 12m00 ジャベリックスロー 18m00

5 競技用靴について

(1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

(2) トラック種目の靴底の厚さは、800m未満の種目では20mm以内、800m以上の種目では25mm以内とする。

(3) フィールド種目の靴底の厚さは、20mm以内とする。

6 公開練習・ウォーミングアップ場所について

- (1) 競技場は2日とも7：00～8：30まで開放する。8：30～9：00は機材準備のために閉鎖する。
- (2) ウォーミングアップは、指定された場所で行い、安全に留意すること。
- (3) 競技開始後（9：00以降）は、進行中の種目に応じ、バックストレート、ホームストレートの一部、フィールド（芝部分）等を開放する。
- (4) ウォーミングアップのために開放する場所については放送（アナウンス）にて連絡する。
- (5) フィールド（芝部分）を開放する場合の入退場口はバックストレート中央の1か所（掲揚ポール前）のみとする。接触事故防止のため、その他の場所からの入退場はしないこと。競技進行の妨げにならないように、トラック横断時には細心の注意を払うこと。
- (6) ウォーミングアップのために開放する場所では、それ以外の目的（休憩や待機、応援など）のために留まることを禁止する。
- (7) リレーの練習で使用したマークは、各団体で責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰ること。（ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。）
- (8) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。（棒高跳のポール、リレーのバトンを除く）
- (9) リレーのバトンについては、バックストレートのみ使用可とする。なお、朝の公開練習については全ての場所で使用可とする。

7 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。優勝者には「チャンピオンTシャツ」を授与する。（大会当日にサイズを記入し、新人戦大会で配付予定）
- (2) 表彰は実施せず、大会本部にてチームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (3) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。（特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。）
- (4) 競技終了後（ゴール後）は、直ちに競技の妨げにならない場所へ移動すること。（トラック付近を通行したり、留まったりしないこと。）
- (5) リレーの練習で使用したマークは、各団体で責任をもって処分する。自分のゴミは、持ち帰ること。（ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。）
- (6) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (7) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (8) 主競技場のメインスタンド、メインスタンド横のテントの設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドの各チームの割り当てられた場所のみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。（雨天などで対応が必要な場合は、当日指示する。）
- (9) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (10) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (11) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑がかかる恐れのあるすべての方向からの撮影、行動を禁止する。
- (12) 雷雨や競技続行不可能な際の緊急避難に関する場合は、アナウンスで連絡するので指示に従うこと。
- (13) 生徒保護の観点から試合内容を、YouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。

8 観客（保護者）の来場について

- (1) 観戦者（保護者）の入場は8：00以降とする。
- (2) 場内の駐車場は競技役員専用となるため、観戦者（保護者）の駐車はできない。
- (3) 来場する場合はできる限り公共交通機関を利用すること。自家用車で来場する場合は近隣の有料駐車場を利用すること。競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。
- (4) 大会本部および円山陸上競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- (5) 観戦できる場所は「スタンド席」のみとする。
- (6) 芝スタンド、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- (7) 観戦者（保護者）の出入り口は、北小ゲートおよび南小ゲートのみとする。保護者が利用できるトイレは、北大ゲート（100mゴール側）トイレのみとする。
- (8) 競技場内においては競技役員および大会本部の指示、場内表示に従うこと。
- (9) 肖像権保護および盗撮防止の観点により、子以外の写真およびビデオ等動画の撮影は控えること。撮影できる場所は、メインスタンド席のみとする。
- (10) トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- (11) 望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるので配慮すること。
- (12) 競技と関係のない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止する。競技場内で撮影した全ての画像、動画は、大会本部にて確認させていただく場合がある。
- (13) 撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- (14) 競技者および競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像、動画をWeb上にアップロードすることを禁止する。